

泉陽会 会報

いづみ

編集発行・大阪府立泉陽高等学校

同窓会 泉陽会

〒590-0943 堺市堺区車之町東3丁2番1号
大阪府立泉陽高等学校内
TEL (072) 227-6030
FAX (072) 232-0005
URL <http://senyokai.jp/>

印刷：宏和印刷株式会社 代表取締役 八十 亨(27期)

平成30年度 泉陽会総会

平成30年4月1日(日) 泉陽会館において平成30年度の総会が開催されました。今年の総会は来賓8名を含む88名が参加し、すべての議案が承認されています。総会も年々、参加人数は減少傾向にあります。総会は例年、4月の第1日曜に開催いたします。来年度は平成31年4月7日(日) 10:30開始の予定ですので、みなさまのご参加をお待ち申し上げております。

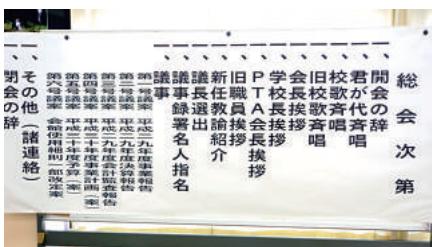


《平成30年度 総会報告》

司会の組織委員会岡本委員長の開会宣言の後、全員で元気よく君が代・校歌・旧校歌を齊唱いたしました。続いて伊藤会長が挨拶をされ、特に、昨年発足しました「クラブ交流会」の経緯と今後の取組みについて更に皆さんとのご協力を訴えられました。次に本年4月1日に東住吉総合高校から赴任されました武田温代校長先生がご挨拶されました。転任後、「初仕事が泉陽会総会の挨拶です」と感慨深そうに語られました。続いて中村潤PTA会長のご挨拶、そして平野教頭先生より転任、新任教諭紹介と進行していきました。

【平成30年度 総会次第】

議事に入り、今西副会長が議長に選出され、さらに議事録署名人に事務局酒井委員長、林組織委員の2名が指名されました。「議案書」第1号議案から第6号議案まで討議されましたが、スムースに進行し満場一致で承認を得ることができます



した。

その他の諸連絡では鈴木良之東京支部長から東京支部での活発な日常の活動内容をご報告いただきました。今年度も皆様のご協力で泉陽会平成30年度総会を無事終了することができました。ありがとうございました。来年度は更に盛会を目指してがんばります。

《平成30年度 懇親会報告》

平成30年度総会終了後、南海グリル東店へ移動し、第二部懇親会が開催されました。

来賓、会員を含め85名の参加をいただきました。総合司会は組織委員会岡本委員長です。伊藤会長は2年目を迎え、スピーチにもゆとりが感じられました。続いて武田温代校長先生が赴任後2回目のお仕事として「今後もよろしくお願ひいたします」とご挨拶されました。次に常任顧問・木村俊一氏(元校長)と和田武子さん(昭和26年卒・3期生)の両氏によるパワーのある乾杯の発声を頂き、その後暫くは旧交をあたためる歓談で過ごされました。

懇親会のイベントは昭和54年卒・31期生の副野敦美さん、大嶋敬一さん、辻村浩樹さん、小野都子さん、栗本奈津子さんが担当してくださいました。旭堂南陵(西野康雄)氏(昭和43年卒・20期生)による司会で元OSK男役トップスター・現

在女優で講談師・桜花昇ぼるさんがドレス姿で登場されました。平成29年10月に他界された南陵氏の奥様への愛をテーマ



に詩にされた曲「あなたともう一度」など、数曲を熱唱され、衣裳替えのため、降壇されました。その間、繋ぎとしてNHK朝ドラ「わろてんか」の大坂ことば時代考证をされた南陵氏が、テレビからはることのできない裏話をユーモアたっぷりに語ってくれました。退屈することなく、時間を過ごせました。



後半は颯爽と彼女の本来のスタイル燕尾服で登場され、「花咲く国」(OSKのテーマソング)、「愛の賛歌」等を歌われ、会場のみなさんと握手、対話を交わし、惜しまれながら退場されました。

来年度の懇親会は32期生の担当です。よろしくお願ひします。

締めくくりは恒例の中林正人氏(昭和27年卒・4期生)が『泉陽会の益々の発展』を願い、力強い素晴らしい「エール」を送られました。していよいよ最後の締めは旭堂南陵氏による住吉締めて楽しい宴もお開きになりました。

今年の懇親会にも多数ご出席ください、ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。また総会、懇親会を準備いただいた役員の皆様、また受付などを手伝いいただきました卒業生の皆様本当にご苦労様でした。

— 広報委員会からのお願い 《読後アンケートにご協力ください》 —

いづみの誌面のさらなる魅力づくりのために、読後アンケートにご協力ください。スマートフォンなどから、右のQRコードでアクセスいただければ、アンケート回答のホームページが開きますので、項目に従ってご回答いただければ幸いです。みなさまのご意見、ご要望をもとに、来年度はさらに魅力のある誌面づくりに取り組みます。



新校長ご挨拶

はじめまして

泉陽高等学校 校長 武田 温代

泉陽会の皆さん、はじめまして。今年度から、泉陽高校の校長に着任いたしました武田です。どうぞよろしくお願ひいたします。

着任した当日の、4月1日に泉陽会の総会と懇親会に出席させていただきました。泉陽高校での初めての業務です。総会では、君が代齊唱に続いて、泉陽高校校歌と堺高等女学校校歌の齊唱がありました。歴史と伝統のある泉陽高校の校長を務めることの重責をあらためて感じた瞬間でした。

また、同窓会や地域の集会、堺市の方々との会合などに参加させていただく中で、「私も泉陽高校の卒業生です。」「子どもが泉陽高校でお世話になりました。」と声をかけてくださる方がたくさんおられます。泉陽会のネットワークの広さを感じ、また、泉陽高校を応援してくださる方々、見守ってくださる方々に対する感謝の思いが溢れています。

この春には70期生が泉陽高校を旅立ちました。卒業生の約1/3が国公立大学に進学しています。このような近年の国



公立大学合格者の増加は、本校の教職員の頑張りによるものだと確信しています。5教科の学力をバランスよく高めていく大切さを伝え、その延長線上に5教科が必要な国公立大学の受験があることを生徒・保護者に理解していただいた成果だと感じています。

皆さんもご存じのとおり、今春の入学者選抜でも、本校は1.28倍という高い志願倍率となりました。地元の堺市はもちろんのこと大阪府下全域からの志願者があり、中学生にとって、府下でも有数の「行きたい学校」になっています。

本校では、「『世のため人のため、世界のため』という社会貢献意識を強く持ち、気品に溢れる、情操豊かな生徒を育て、その進路実現を叶える」ことを学校目標に掲げています。

これは学校の使命であると同時に、校長としての私の使命でもあります。この目標を達成するために、在学中の3年間で生徒の心に種をまき、生徒が秘めている無限の可能性を引き出していけるよう、教職員や学校関係者の方々とチーム泉陽として取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、生徒が卒業後も将来にわたって幸せを実感できる泉陽高校であり続けるため、今後とも様々なご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。この春には70期生が泉陽高校を旅立ちました。卒業生の約1/3が国公立大学に進学しています。このような近年の国

平成30年度 教職員異動

転出					転入				
職名	教科	氏名	転出先	備考	職名	教科	氏名	転入元	よみがな
校長		浅田 充彦	摂津高	転出	校長		武田 温代	東住吉総合高	たけだ はるよ
教諭	国語	山崎 真道	—	退職	教諭	理科	吉田 晶子	岸和田高	よしだ あきこ
	数学	金尾 強平	(広島県)	転出		英語	井山 哲也	堺東高	いやま てつや
	理科	河内 康孝	和泉総合高	転出		英語	菅原 和也	新採用	すがわら かずや
	英語	角田 知生	東百舌鳥高 (再任用)	定年退職	講師	国語	佐野 陽子	本校 (講師継続)	さの ようこ
	英語	鳥井 秀也	伯太高	転出		英語	田宮 佑将	和泉高 (講師)	たみや ゆうすけ
実習教員		藤原 智恵	泉大津高	転出		養護	塩土 真央	本校 (助教諭継続)	しおしまお
講師	国語	(佐野 陽子)	本校 (講師)	継続	実習教員		出来 享子	豊中高	でき きょうこ
	英語	大浦 詩織	岸和田高 (教諭)	新規採用	事務 (再任用)	主査	篠森 周治	美原高 (事務長)	しのもり しゅうじ
	英語	(菅原 和也)	本校 (教諭)	新規採用		主事	塩谷 千秋	佐野工科高	しおたに ちあき
	養護	(塩土 真央)	本校 (助教諭)	継続					
事務	主査	長澤 和子	成美高 (再任用)	定年退職					
	主査	井東 俊治	—	退職					

母校の主な行事(2018年4月~9月)

4月6日(金) 入学式

5月21日(月)~24日(木) 5月考查

7月21日(土) 語学研修(~8月6日)

5月1日(火) 創立記念日

6月13日(水) 体育祭

9月22日(土)~23日(日) 文化祭

5月12日(土) PTA総会、公開授業

7月2日(月)~6日(金) 7月考查

※行事予定は変更の可能性があります

会長あいさつ

《2018年度を迎えて》

泉陽会会长 伊藤 裕康

会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、泉陽会の活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。泉陽会の会長を拝命して早1年を経過しました。泉陽会の会員は平成29年度で21,980名(いづみ発送部数による。)に及びますが、同窓会の各委員会におかれましても与えられた役割を滞ることなく活動いただき、感謝いたしております。

新年度にあたり同窓会の今後の取り組について手短に述べさせていただきます。詳しくは総会の「議案書」、「ホームページ」等に掲載されています。

●年会費納入状況

最近は減少傾向にあり、是非皆様方のご協力で納入件数が向上しますようにお願いしたいと思っています。

●名簿について

より正確なデーターを集約すべく、少ないメンバーの中で頑張っておりますが住所変更届は速やかにお知らせください。名簿管理の方法については今年1年かけて検討していきたいと思っています。

●『クラブ交流会』について

発足の経緯と開催に至る報告は「いづみ」に載せていますが

9月30日(日)に第1回「クラブ交流会」を予定しています。連絡の届いていないクラブの皆様方も是非参加をしてみたいと思われる方は申し込んでください。

私自身も高校時代の先生、先輩、後輩との触れ合いがその後の人生の大きな財産になったと思っています。同窓と語らう時間は単純に楽しいのですが学生時代を振り返って素直に物事に向き合い、取り組んでいた自分自身が輝かしく思い出されます。

私は「泉陽会」の活動に多くの方が参加いただき、会員相互の活発な交流が行われますように積極的に支援していきたいと思っています。また、母校の発展に側面から援助し、体育祭、文化祭、福を呼ぶ会などPTAともども緊密な関係を作り、同窓会のホームページにも報告していきたいと思っています。

最後になりましたが会員皆様のより一層のご支援、ご援助をお願い申し上げる次第です。



平成30年度 泉陽会 事業計画 (●前年度継続／★新規計画)

泉陽会 委員会活動

【事務局(委員長 S46卒 酒井正博】

- 在校生支援活動(継続事業)
- 会議運営(執行委員会／代議員会)
- 慶弔規程による電報等の発信
- 卒業証書入れ(A4両開きファイル)の贈呈
- 各会議の議事録、資料作成、備品等の管理・保管
- 会館運営管理

【組織委員会(委員長 S52卒 岡本雄介】

- 組織強化にむけて、各期2名以上の代議員配置
- 公開講座の運営(年2回開催)
- ★文化部・運動部クラブ交流会開催
- 二十歳の会・成人を迎える卒業生の同窓会支援

【広報委員会(委員長 S60卒 吉山 論】

- ★広報誌いづみのリニューアル
(読後アンケートの実施と分析、評価)
- ★ホームページのアクセス解析の実施と改良
- 泉陽高校関連の他のサイトとの連携強化
- ホームページの利便性向上

【財務委員会(委員長 S49卒 山崎博行】

- 平成30年度会計年度における入出金管理

【名簿委員会(委員長 高木 学】

- 新会員情報の登録／名簿データの管理
- 「いづみ」戻り分からのデータ更新
- 代議員宛の住所不明者の追跡
- 同窓会開催年次の宛名シール印刷(依頼時)
- ★名簿管理システムの更新検討

【むすびの会委員会(委員長 S31卒 中川明子】

- 閲覧会の実施

泉陽会 同好会活動

【晶子研究会(代表 石川尚久】

- 勉強会(月次)の実施
- 堺街歩き(平成30年4月上旬)
- ★晶子フォーラムにおける本校文芸部との共同発表作業
- 文学散歩の実施(秋期)
- ★晶子生誕140年に向けての企画

【ゴルフ同好会(代表 S48卒 竹山三郎】

- ゴルフコンペ開催(年4回)

【混声合唱団「陽(ひかり)」(代表 S43卒 南野三都男】

- 泉陽同窓会館で練習(月2回)

―― 同好会(休止中) ――

旅行会／カメラ同好会／囲碁将棋友の会

《泉陽会 執行委員会組織変更》

山崎博行 旧：事務局・財務担当副会長 新：組織・財務担当副会長
高木 学 旧：組織・広報担当副会長 新：名簿・広報担当副会長

今西和代 旧：名簿・むすび担当副会長 新：事務局・むすび担当副会長
廣田恭子 旧：名簿委員会委員長(退任)
高木 学 新：名簿委員会委員長

平成29年度決算及び平成30年度予算

2018年4月の総会で承認された平成29年度決算報告と、平成30年度予算です。

収入の部

科目	平成29年度 予算	平成29年度 決算	平成30年度 予算
入会金	3,177,000	3,168,000	3,591,000
年会費	4,500,000	4,077,000	4,500,000
預金利息	1,000	24	1,000
その他収入 * 1	30,000	213,390	30,000
総会懇親会負担金	180,000	176,000	180,000
むすびの会	100,000	100,000	100,000
前年度繰越金	3,770,369	3,770,369	3,747,286
合計	11,758,369	11,504,783	12,149,286

* 1その他収入について

平成29年度において、下記の寄付を頂戴しました。関係者のみなさまに、心より感謝申し上げます。

寄付明細	金額
コールいづみ様	7,600
S46年卒（23期）業生一同様	13,578
S62年（39期）卒業生一同様	182,812
S32年（9期）安保恵以子様	5,000
文芸部H27年卒（67期）OG一同様	900

支出の部

科目	平成29年度 予算	平成29年度 決算	平成30年度 予算
組織委員会	総会費	800,000	772,000
	事業費	150,000	112,382
事務局	事務費	870,000	490,698
	会館運営費	350,000	195,505
財務委員会	会合費	200,000	139,080
	慶弔費	50,000	40,102
広報委員会	親睦費	250,000	150,000
	教育振興費	200,000	240,000
むすび委員会	卒業記念品	280,000	271,810
	振込料等	200,000	131,835
名簿委員会	印刷代	850,000	818,885
	発送費	1,800,000	1,801,492
修繕積立金	IT管理	450,000	446,040
	小計	200,000	141,250
記念事業積立金	消耗品費	100,000	6,418
	PC機器	0	500,000
予備費	修繕積立金	1,000,000	1,000,000
	記念事業積立金	1,000,000	1,000,000
次年度繰越金	小計	1,000,000	1,000,000
	予備費	3,008,369	3,289,286
合計	次年度繰越金	8,750,000	7,757,497
合計	合計	11,758,369	11,504,783
			12,149,286

平成30年度 泉陽会 行事予定

平成30年度の泉陽会の行事予定です。来年度の総会予定も記載しておりますので、ぜひご参加くださいませ。

年月日	委員会・会議	行事
2018.04.01 (日)		総会／懇親会
2018.04.21 (土)	第1回執行委員会	
2018.05.19 (土)	第2回執行委員会	泉陽会歓送迎会
2018.06.02 (土)		いづみ発送
2018.06.03 (日)		いづみ発送
2018.06.16 (土)	第3回執行委員会	
2018.07.21 (土)	第4回執行委員会 第1回代議員会	公開講座
2018.09.08 (土)	第5回執行委員会	
2018.09.30 (日)		クラブ交流会
2018.10.20 (土)	第6回執行委員会	
2018.11.17 (土)	第7回執行委員会	
2018.12.15 (土)	第8回執行委員会 第2回代議員会	泉陽会忘年会
2019.01.19 (土)	第9回執行委員会	
2019.02.16 (土)	第10回執行委員会 第3回代議員会	公開講座
2019.03.23 (土)	第11回執行委員会	

2018年度(第1回)公開講座のご案内

—「和泉」地名発祥の地—

和泉の国総社・泉井上神社 田所宮司語る

◆ テーマ 神社と神様

◆ 日 時 2018年7月21日(土)16時～

◆ 場 所 泉陽会館 2階

《田宮司プロフィール》

- ・泉陽高校 昭和41年卒18期生
- ・泉井上神社宮司・和泉幼稚園園長
- ・大阪府神社庁副庁長
- ・伊勢神宮評議員

平成31年度 総会／懇親会のご案内

日 時 2019年4月7日(日)

総 会 於：泉陽会館 10:30開始

懇親会 於：南海グリル 13:00開始

懇親会会費 2,000円

泉陽高校だより

70期生は、約1/3にあたる132名が現役で国公立大学に進学するなど、進学校としての実績をあげています。また、クラブ活動もさかんに行われています。

泉陽会よりの報奨金授与

昨年度より、近畿大会や全国大会など、めざましい活躍をされた現役クラブに対して、泉陽会からの報奨金を提供する取組みをはじめています。泉陽会の目的である『会員相互の親睦を図ると共に、母校の進歩と発展に寄与する』について、さらに現役生を支援することを意図しています。

平成29年度においては、ダンス部、ポピュラーミュージック部、水泳部、陸上部が全国大会に、陸上部が近畿大会に進まれており、それぞれ規定に基づき報奨金を提供しました。写真は400m、800m自由形で全国インターハイに出場された、水泳部の長瀬琴音さんです。



70期生の卒業式



音楽部／文芸部 一新聞記事より(朝日新聞 2017.05.30)一

晶子フォーラムで唄う音楽部、さかい利晶の杜で開催された2017年5月の展示会での文芸部の活躍が紹介されました。(以下、記事抜粋)

5月27日 与謝野晶子の命日「白桜忌(29日)」を前に、地元で開かれた「晶子フォーラム」で、大阪府立泉陽高校の音楽部が曲を披露した。晶子の詩に曲をつけた作品を歌うのは、音楽部の大半が役割だ。作曲したのも、音楽部OBの作曲家、石若雅弥だ。「晶子は身近な存在。曲をつけることで魅力を知ってもらう機会を増やしたい」、「晶子には色々なタイプの詩があり、生徒も色々な表現を練習できる」と、顧問の石毛明生教諭。

文芸部はオリジナルの文章や絵を創作し、年4回、冊子「透明瞬間」を発行、各学級に配っている。今回、展示されたのは、晶子の特集版「抒情、与謝野晶子様。」に載った作品だ。

軽音楽部 一新聞記事より(朝日新聞 2018.03.06)一



【2019年度 定期演奏会のご案内】

2019.4.29(土) 堺市立東文化会館

創部1962年、当初からジャズ一筋の軽音楽部が「たかつきスクールJAZZコンテスト」で、昨年に引き続き優秀賞を獲得しました。今年の5/3の「高槻JAZZ FESTIVAL」にも参加するなど、活躍しています。(以下、記事抜粋)

昨年1月の優秀賞では、審査員から「自分たちが楽しむことが大事だよ」と指摘された。「演奏に必死で楽しむことを忘れていたかもしれない」と、部員たちがミーティングを重ね、「たのしまな損やな」との結論にたどりついた。教えられた通りに演奏する悪癖から脱却し、本来の『JAZZを楽しむ』姿へ…。進行のみの楽譜に音源からの解釈とアレンジを加えて、『楽しい演奏』を追求している。

東京支部活動報告

(昭和36年卒 鈴木 良之)

東京支部は鈴木支部長(昭和36年卒(13期)鈴木良之)の下、毎年活発な活動を展開しています。同窓会、東京・江戸さんぽと、恒例の活動の記事をお寄せいただきました。同窓会には54名の多数の方が参加されています。



東京支部同窓会

平成29年度の同窓会は、6月11日に汐留のブルームードで開催されました。

今年は初参加11名、大阪からの参加者2名を含む昭和19年卒から平成5年卒までの54名が出席しました。今年も旧制女学校の卒業生で92才の金平時子さんがあ元気に出席されました。来賓として堺市東京事務所山本次長に出席頂き、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産の国内推薦の審査について、4月に発売されたガイドブック「堺を歩けば。」の紹介、5月に行われた東京・さかい交流会などについてお話しして頂きました。



軽井沢から久しぶりに出席した44年卒の眞田美博さんの音頭で乾杯し、会場は歓談の場と変わっていきました。宴だけなわの中、大阪から駆けつけた43年卒の4代目旭堂南陵さんが講談「家康の最期」を語ってくれました。講談を聞くのは初めての人も大勢いて、伝統芸能の素晴らしさを目のあたりにしたことと思います。

この後、音楽部とフォークソング部出身者有志によるコーラスグループが初出演し、素晴らしいハーモニーを披露してくれました。この混声合唱団は昨年の同窓会の後に結成され、今年の同窓会に向けて練習を繰



り返してきました。曲目は、「花」「少年時代」「秋桜」「冬の夜」「なごり雪」の四季折々の歌で、最後に「広い河の岸辺」「見上げてごらん夜の星を」をみんなで歌い、舞台と会場が一体になりました。スピーチは久しぶりに出席された田坂知子先生が泉陽で教壇に立っていた頃の思い出話、最近の近況について話されました。この日は久しぶりに出席した人、初参加者が多く、時間の関係で一言づつスピーチはしてもらいましたが、ぜひ今年も出席してもほしいものです。

最後は、音楽部、フォークソング部出身者がリードして、女学校校歌、高校校歌、生徒歌を全員で合唱してお開きとなりました。

江戸・東京さんぽ

第28回さんぽは、1月8日に初詣を兼ねて深川七福神巡りに行ってきました。朝からどんより曇った寒い一日でしたが、25名が門前仲町駅に集合しました。深川七福神巡りは12年前にも実施しましたが、大変好



評で、もう一度の要望があったため再度実施しました。深川周辺には史跡旧跡が多く、下町情緒に触れながら巡ることができることでも人気があります。また、最近はNHK朝ドラ「とと姉ちゃん」の舞台となったこともあります、訪れる人が増えています。通常の所要時間は約2時間、歩く距離は約4.5kmですが、高齢者が多いのでゆっくりと休みながら巡りました。途中、トイレ休憩を兼ね深川江戸資料館に立ち寄りました。ここには江戸時代の深川の長屋が再現されて

いて、八百屋や米屋、船宿などがあり、室内に入れるところもありました。長屋の住まいは、畳があるところやゴザだけの家など、貧富の差を感じることができました。昼食は作家の池波正太郎がよく通ったという割烹「みや古」で、深川名物の「深川めし」を味わいました。昼食後、店の外に出てみると雨が降り出していました。傘をさしながら芭蕉記念館まで歩き、館内を見学した後、最後の深川神明宮を参拝して七福神巡りは終了しました。

第29回さんぽは、11月25日に奥浅草を散策しました。江戸時代から一大歓楽街として庶民に親しまれてきた浅草ですが、奥浅草は今、ひそかに話題となっています。東に隅田川を臨む奥浅草は、浅草寺・言問通りの北側エリアで、歌舞伎の江戸三座跡地をはじめ、幕府公認の遊郭でにぎわった吉原や数々の寺社が点在する歴史とロマンを感じるエリアもあります。明治維新後は、西洋靴への切り替えに伴い皮革産業発展の地ともなり、カフェやレストランがオープンするなど旧来の観光だけではない、レトロでモダンな情報の発信地としても注目されています。この日は、浅草寺の裏にある雷5656会館を起点にして、吉原遊郭の跡地を探りながら次の順路で歩きました。



吉原大門交差点→吉原大門→仲之町通り→吉原神社→吉原弁財天→鷲神社

昼食は雷5656会館で名物の「深川炊込み御膳」を頂き、食後は浅草土産で有名な常盤堂の雷おこし作りを体験しました。出来上がった温かい雷おこしを食べましたが、口の中でジュワ～と溶けるような感覚でした。この温かい雷おこしが食べられるのはわずか5分ほどで、すぐに冷えてしまうので、本当に作った人が味わえる味です。混ぜるのも切るのも難しかったのですが、みんな料理教室のように楽しんでいました。家でも作れるように2回分の材料付きです。硬くて食べにくいイメージのあった雷おこしだけですが、最近は柔らかいおこしが主流でキャラメル味やチョコレートかけなど50種類以上のおこしが販売されているそうです。雷おこしの体験教室後に解散となりましたが、お土産を買う人、さらに浅草散策を楽しむ人、甘味処による人など様々でした。

同窓会

毎年、各期が趣向をこらした同窓会を開催しています。案内の発送や企画のお手伝いなど、泉陽会でも可能な限りの支援をさせていただきますので、ご報告のみならずご相談もお待ちしております。

昭和39年卒(16期)同窓会

昭和39年卒 武田 勝治

平成29年7月8日(土)、ダイワロイネットホテルで第16期生の同窓会を開催しました。



昭和34年卒(11期)喜寿同窓会

昭和34年卒 酒井睦夫



平成29年6月3日(土)、快晴の下57名の参加で南海グリル東館で賑やかに開催されました。毎年ながら寄る年波には勝てず体調不良による欠席者が多く出るようになりました。

最初に2組の三浦琴之(旧姓長浜)さん、3組志水幸治さん、7組西田幸子(旧姓松田)さんの逝去の報告にご冥福を祈り黙祷を捧げました。

今年、来年は我々は後期高齢者の仲間入りしたと思ったらすぐに喜寿の年を迎えることとなり健康寿命をできるだけ長く引き延ばすべくいろんな努力をされている様子があちこちから聞こえてきました。今回も元気にご出席いただきました行先生も卒寿を迎えてダブルの目出度い同窓会となりました。

総幹事の柴山くんの“皆さん一応？元気に参加できること非常に嬉しく思います”との挨拶のあと行先生が視覚障害の後遺症に悩まされている元気印の佐々木逸郎くんの力強い乾杯の音頭で開宴いたしました。

半世紀以上タイムスリップして学生服(厚顔の美少年?)のオジサンたちとセーラー服(昔乙女、今太目)のオバサンたちが相集い昔話に花が満開になるくらい咲き誇っていました。

途中堺の銘菓八尾源来弘堂のお菓子が各テーブルのジャンケンで勝ち上がってきた人に提供された代わりに近況報告をしてもらいましたが皆さん元気でまだまだ健康寿命が伸びそうな勢

出席は73名。村上尚三くんの司会で開会となり、前回の同窓会以降に亡くなった同窓生を悼み黙祷を捧げました。世話を人代表して能塚(大本)耐子さんが開会の挨拶をし、九州をはじめ遠方より参加の皆さんの紹介のあと、瑞宝双光章を受けられた大賀(新島)安子さんを祝って山本勝之くんが花束を贈呈しました。

司会が太田広太郎くんと大石(西川)寿子さんに代わり、食事歓談タイムに入りました。

岸上倭文樹くんのリードによる生徒歌斉唱、玉村 徹くんの琴演奏(玉村くんは今回の記念の団扇作成に孤軍奮闘してくれました)、各クラスの紹介と続き、7組の河内音頭の踊りが大盛り上がりを見せました。

最後に校歌と高校三年生を今福秀之くんと高田(志村)純子さんのリードで歌って、清水正己くんの挨拶で閉会となりました。

「次の同窓会は75歳でしょう」という声がありました。

【記念の団扇】



いでした。

話し足りない人20人が二次会で歌いまくり、喋りまくり“高校三年生”でお開きとなり5時前に次回二年後には誰一人欠けることなくお会いしたいものですねーと長田くんの一本締めでお開きとなりました。

昭和34年卒(11期)喜寿忘年会

昭和34年卒 酒井 睦夫

「年末楽しくおしゃべりしませんか？」と銘打った忘年会に素敵に成長されたオジサン・オバサンたち26名の参加で堺東“にんにん”で平成29年11月25日開催されました。



はじめに2名の逝去者のご冥福を祈り黙祷を捧げました。司会者の健康寿命を延ばす事を祈念して、よく歩く・よく噛む等を励行してくださいそしてビンビンコロリと逝ける事を祈りますの言葉で宴席の幕が開きました。途中4名の初参加者と11月、12月誕生日の3名の自己紹介と近況報告を披露していただき皆さんすこぶる元気にシニアライフを過ごされているのには羨ましく、見習わなくちゃと頼もしく思われました。

しかし会場が3階で足腰が悲鳴を挙げていると4~5名の声があり来年は会場の変更も考慮しつつとりあえず元気で再会できることを約し、閉会しました。喜寿万歳！

みゆき会 第11回同窓会

昭和26年卒 池田 康江

平成29年12月1日、ホテル・アゴーラ・リージェンシー堺、アクアマリンにて、25名の参加で開催いたしました。

私たちの学年は、終戦後の学制改革により、泉陽高校と三国ヶ丘高校に分かれた、高三回卒の同窓生の会です。大方は85歳にもかかわらず元気で、身体はともかく、気持ちは女学生にもどり、会食と歓談に、楽しいにぎやかな時を過ごしました。毎年、暮れの開催と決まっていましたが、暖かい時季であれば出席したいとの声もあり今年の12回は6月1日(金)、同じ場所で開催することに決定しています。

どうか、ご健康で再会できますことを楽しみにいたしています。



2017.6

ホテル・アゴーラの海の見える26階で、なごやかな雰囲気の中で会食を楽しむみゆき会の仲間たち（写真責任：和田武子）

昭和37年卒14期生 第10回同窓会

14期生代議員 菅田 義雄・林 昌子

平成29年11月12日(日)、アゴーラリージェンシー堺に69名が集い、和やかに旧交を温めました。

「同窓会泉陽会」の会長を萩原由紀さん、副会長を滝田勝彦さんが昨春の退任まで十一年間要職を努めてくださった同期のお二人に謝意を表し、花束を贈呈しました。

又、3年前にNHK「プロフェッショナル・仕事の流儀」で放送されたビデオを皆さんに見て頂きました。16年前、車イス生活を余儀なくされた4組天見鎮雄さん。この時偶然にも天見さん

が四半世紀に渡る思い出の一一杯詰まったスイス製の腕時計が故障し、大阪の時計店では修理は不可能と断られました。

しかし、呉市「大崎下島」の名人の手で時計が修復され、奥様の力強い支えもあって天見さんは元気を取り戻されました。

次回同窓会は2020年11月8日に最終同窓会として開催を予定しています。元号も改まり、私達は喜寿を迎えます。皆さんに楽しんで頂ける内容にしたいと考えています。今まで参加されていなかった方も是非参加してくださいね。

成人式記念同窓会（68期生）

第一回同窓会を終えて

平成28年度卒 68期生 名富 心

私たち68期生は泉陽高校を卒業してから2年が経ち、成人を迎える歳となりました。

成人祝いとして、平成30年1月6日(土)に「スイスホテル南海大阪」にて、68期生第一回目の同窓会を開催しました。

参加者は246名、恩師の先生方にも8名ご参加いただきました。同窓会は、中川先生のごあいさつ、河内先生の乾杯の音頭に始まり、歓談の時間や抽選会で大いに盛り上りました。短い時間ではありましたが、先生方やかつてのクラスメイトと久しぶりに語らう姿は、まるで高校時代に戻ったかのような雰囲気で、あのころと変わらず、みんなきらきらした、充実した良い顔をしていました。

このような楽しい時間が過ぎるのは本当に一瞬で、最後に全体写真を撮り、校歌を歌って同窓会一次会はお開きとなりました。その後に開かれた二次会も、当日参加を含め100名を超えて集まり、思い出に残る素晴らしい一日となりました。

今回の同窓会を開催するにあたって、泉陽会の皆様には、厚いご支援、ご協力をいただき本当に感謝しています。ありがとうございました。



3年1組～3年5組 集合写真



3年6組～3年10組 集合写真

65歳の学年同窓会(昭和46年卒・23期生)

第23期幹事代表 長谷川雅幸・阿比野節子

平成9年から5年ごとの学年同窓会は今年で20年目になりました。平成29年5月14日に行昭一郎先生、山本和男先生の二名の恩師をお迎えしてスイスホテル南海大阪で「65歳の学年同窓会」を開催しました。

近畿以外からも多数の参加もあり、同期生の参加は97名でした。今回もクラス幹事と応援していただけた同期の方で企画運営をさせてもらいました。3年のクラス、2年のクラス、1年のクラスと席を替わり、二時間半という制限はありましたが高校時代にタイムスリップして楽しい時間が過ごせたように思いました。

次回は3年後に開きたいとの声がたくさんありましたので、クラス幹事の方と一緒に楽しい企画を考えたいと思っています。また大いに語り合いましょう。



山本和男先生、行昭一郎先生



1組 集合写真



2、7組 集合写真



3組 集合写真



4組 集合写真



5組 集合写真



6組 集合写真



8、9組 集合写真



10組 集合写真

泉陽会 執行委員募集のご案内－泉陽会にあなたのお力を貸していただけませんか－

泉陽会では、随時、各委員会の執行委員を募集しています。参加資格は泉陽会会員であることのみ。会員の親睦を深め、母校の発展に寄与するために、みなさまのお力添えをいただければ幸いです。各委員会は、次のような活動を実施しています。興味のある方は、伊藤会長、または各委員長にお問合せいただくか、泉陽会のホームページ(<http://senyokai.jp>)からお問合せください。

委員会	主な活動	連絡先	委員会	主な活動	連絡先
事務局	・年度日程の作成 ・会議の管理 ・在校生の支援活動 ・会館運営管理等	酒井正博 (090-4293-8314)	組織委員会	・総会の開催 ・年2回公開講座の開催 ・クラブ交流会の開催	岡本雄介 (090-3674-5170)
広報委員会	・会員誌の編集 ・HPの運営	吉山 論 (090-7351-1951)	財務委員会	・泉陽会の財産管理 ・年会費納入管理 ・各種出納	山崎博行 (072-232-2718)
名簿委員会	・会員情報の管理(登録、変更) ・同窓会用タックシール作成等	高木 学 (090-3286-5904)	むすびの会	・むすびの会運営	中川明子 (0725-56-3657)

卒業生クラブだより

各クラブのOB、OGのみなさまが、現役支援などの活動を積極的に展開されています。野球部、剣道部、サッカー部、ソフトボール部より記事をおよせいただきました。

野球部

19期生 西辻 利治

首藤さん(31期)による現役部員投手陣研修を実施

例年開催されている

三国ヶ丘高校定期戦

<平成29年11月23日(勤

労感謝の日)開催>が、

生憎の昨夜来の雨で中

止となりました。

中止のこの機会を利用して、参加予定であった31期の首藤さんに、

学校野球部関係者からの依頼もあって、最新の投手ルール等について現役部員投手陣に研修をお願いしました。

投手牽制・投球フォームのルール、ストライクゾーン、球場ルールなど、実技を交えながら事細かな指導を受けました。研修会の終わりに、首藤さんから部員に、「他の高校野球試合、他の選手のプレーを見て野球を学び、取り組んでほしい。さらに自分たちのチームの形や高校野球に対する姿勢をつくることが大事」など約2時間の中身の濃い研修内容を、部員たちは真剣に聞き入っていました。

部員の皆さんには、研修内容について日頃の練習、練習試合を通じて出来ることから組み入れて、技術を共有、向上させて、個人個人の部活動を有意義かつ充実させるとともに、甲子園を目指して鍛錬をして欲しいところあります。

首藤さんは、現在支援学校に勤務する傍ら大阪府高校野球連盟の審判部に所属し、日々高校野球に携わり繁栄に尽力されています。



泉陽高校野球部でのひたむきに野球に思う

63期副主将の上野です。昨年度の秋の三国丘OBとの定期戦で久しぶりに野球をしました。思い返せば最後の夏から6年以上も過ぎ去っていました。

僕たちのチームは2回戦

で久米田高校との熱のこもった試合に勝利した後、3回戦であっさり敗退しました。

敗戦後泣きながら、もう真剣にバッターボックスに入ることはないんだな、と寂しくなったことを覚えています。大学では野球はせず、陸上競技に転向したので、それ以来ほとんど野球はしませんでした。



さて、話をOB戦に戻しますと、僕の2打席目の対戦投手は三国丘高校の1学年先輩の左投手でした。現役の頃はその速球に、いつもコテンパンにされていました。気がつくと、狙い球を絞って相手投手との間合いを取り、あの頃と同じような気持ちで真剣勝負をしていました。

あの夏を思い返すと、たくさんの後悔があります。失敗もしましたし、力を出し切れず悔しい思いもしました。でも失敗したことは、あの頃の先輩や後輩と笑い話にできます。そして力を出し切れなかったなという思いは、こうやって1年に1度晴らすためのチャンスが用意されています。ですので、3年生は残りの時間で失敗を恐れずに存分にチャレンジしてみてください。そして引退後もチームメイト達と野球を楽しんでほしいと思います。

上野さんは、現在古民家などのリノベーション事業に取り組んでおられます。

剣道部

現監督 杉中 周平

平成29年10月15日(日)、午前10時より、泉陽高校の剣道場でOB稽古会を開催しました。現役部員とともに体操、素振りを行い、集合写真を撮ってから、基本稽古のあと地稽古で汗を流しました。当日は、昭和34年の大阪チャンピオン、岡村陵二氏(12期)、遠路千葉から駆けつけてくださった河合照公氏(15期)、天王寺高校の部員4名を引率して参加された井上弥氏(32期)、これまでのOB稽古会に皆勤の平本哲勲氏(53期)をはじめ、現役の大学生(66、67、69期)まで幅広い年代の方々が集って剣を交え、親睦を深めました。



私が剣道部の監督となった平成22年に、「部旗」を新調していくとき、そのお披露目を兼ねてOB稽古会を企画しました。その後、平本氏らのご尽力で稽古会が定着これまでに多くの方が参加されました。

次回は、平成30年10月21日(日)の予定です。見学だけでもOKです。常連の方も初参加の方も、皆様お誘い合わせの上、ぜひ懐かしい道場に顔を出してくださいますよう、よろしくお願いいたします。

ソフトボール部 一行昭一郎先生を囲んでー

4期生 中辻 知子

昨年7月2日に泉陽高等学校ソフトボール部のコーチとしてお世話して下さいました行先生を囲んで、異年齢の同窓会を天王寺都ホテル地下一階「たちばな」で開催いたしました。行先生は、ご病気をされておられましたが、当日は、お元気になられて快く出席してくださいました。



出席者は、12名(4期2名、8期2名、9期3名、10期3名、21期2名)。

現在、行先生は現役を引退されておられます。我が泉陽高校へは、新卒で務められましたので思い出も沢山あり、新聞記事等なつかしい資料の中には、行先生が永年の教職生活に対して輝かしい表彰を受けられた新聞の記事もありました。私事ながら、私、妹、弟と三大に渡りソフトボール部でお世話になっておりました。このたびは世代の異なる共と話題が一つで、楽しいひとときを恩師行先生を囲んで過ごせたことを報告いたします。

サッカー部

18期生 福井 隆一郎

サッカー部は、今年で創部63年目を迎えます。創部当時から、大阪府内でベスト4を、守り続けていて、近畿大会は常連校に



数えられていきました。特に27期の箕野宏士氏の年代が中心となって、近畿大会で優勝した実績があります。OB会の組織も伝統があり、初代会長の大元氏は、創部3年目のキャプテン

です。23期には、オールジャパンの一員となった加藤光男氏もいました。一年下に、母校のサッカー部を指導いただいた24期の山内和夫先生がいます。又、コーチとして活躍され、実弟が在籍していた初芝高校を全国制覇に導いた小倉義生氏(11期)がいます。毎日の放課後の練習は、力ちかちのグラントで、ボールもすぐ傷みました。部費も少なく、ボールが次々破裂して、困ったことも覚えています。そして、恐い先輩が毎日グラントに現れ、ご指導いただく先生方も、大変熱心で、厳しい練習の日々でした。夏合宿も当時は北西角にあった食堂の上で、夜 布団もなく寝たのを覚えています。炎天下の練習でくたくたになり、飯場のような場所で寝泊まりしました。大変つらい思いを

しましたが、そのお陰で、秋には、皆が見違えるようなプレイヤーに変身していました。私は18期で、今と違って、全くの素人で入部しました。当時 浜寺中、大浜中、高石中卒のサッカー経験者が在籍していて、公立高校としては高いレベルを誇っていました。3年間のサッカー部生活は、私の高校時代の自分にとってかけがえのない経験をさせてくれました。サッカー部OB会の組織は、今年で27回目を迎えました。夏には三国ヶ丘高校と定期戦として、川淵杯を続けています。お正月3日の初蹴り、新年会など、OBになっても楽しくさせていただいている。これからも公立高校の雄として、現役諸君のご活躍をお祈りいたします。



クラブ交流会

第一回交流会に案内さしあげられなかったOB・OGのみなさんも是非積極的に参加して頂き、輪を広げて頂けるよう、よろしくお願いいたします。

クラブ交流会発足

泉陽会会长 伊藤 裕康

平成29年度から会長に就任しました私は、現執行委員会体制のもと、新規の同窓会事業として「クラブ交流会」に取り組んでいます。

取組スタート

課題の取組に向けて、昨年9月、岡本組織委員長の指導の元でスタートしました。



当初各クラブOB・OG会の資料もなく、人づてに各クラブの代表の方を探すという作業を繰り返し、平成29年11月11日(土)に第一回の代表者会議を泉陽会館2階会議室で実施しました。

「文化部・運動部クラブ交流会」は、『同窓会の活性化と同窓の交流の場を広げる』という趣旨のもと、すすめています。第一回の代表者会議は、その準備会議の位置づけで実施しました。

開催案内を差し上げた時点で、皆様の意

気込みと熱意が伝わっていましたが、さらに当日の会場の盛り上がりに、私たち執行役員は感動いたしました。文化部・運動部のOB、OG24名、役員16名が自己紹介と併せて現役当時のこと、またクラブの現状を述べられました。参加いただいた文化部・運動部は下記のとおりです。

- 史学部、●音楽部、●硬式野球部、●陸上競技部、●サッカー部、●軟式庭球部、●水泳部、●バスケットボール部、●バレーボール部、●卓球部、●柔道部

一「全体交流会」開催にむけて

この会議において、今後の取組みとして「泉陽会全体のクラブ交流会」の開催日程を平成30年9月30日(日)と決定しました。



交流会の詳細については、さらに会議を開催し、決定してまいります。

第1回交流会にご案内を差し上げられなかったOB、OGのみなさんも是非積極的に参加して頂き、輪を広げて頂けるよう、よ

ろしくお願いします。

なお、現在の泉陽高校のクラブは、次の運動系 なお、現在の泉陽高校のクラブは、次の運動系21クラブ、文化系17クラブが活動しています。

【運動系】

- 硬式野球部、●陸上競技部、●サッカー部、●ソフトボール部(女子)、●男子ハンドボール部、●女子ハンドボール部、●男子硬式テニス部、●女子硬式テニス部、●男子ソフトテニス部、●女子ソフトテニス部、●山岳部、●水泳部、●器械体操部、●男子バスケットボール部、●女子バスケットボール部、●男子バレーボール部、●女子バレーボール部、●女子バトミントン部、●卓球部、●柔道部、●剣道部

【文化系】

- 弦楽部、●音楽部、●吹奏楽部、●軽音楽部、●ポピュラーミュージック部、●美術部、●書道部、●華道部、●茶道部、●囲碁将棋部、●放送部、●実験部、●文芸部、●演劇部、●ダンス部、●植物部、●ESS

クラブ交流会に関する連絡先

昭和52年卒・29期生/サッカー部所属

岡本雄介

E-mail : yuusuke@okmt-5610.co.jp



各方面で活躍するOBたち

37期 あべまりえ(永井明子)さん

水彩イラストレーター。水彩講師。カリグラファーズ・ギルド会員。大阪教育大学美術学科卒業。個展開催、アトリエ「water-colour space PAPIER(パピエ)」でのレッスン、創作活動、各地での文化教室講師など、多忙な日々を過ごしている。著作に「旅の時短スケッチ(BNN新社)」、「やさしい水彩の時間一飾りたい水彩イラスト(BNN新社)」等がある。時短スケッチはNHKのShort News Storiesにもとりあげられている。



今思えば、高校時代は本当にのびのび過ごしていたと思います。泉陽高校は、どんな個性の生徒も受け入れてくれる懐の大きな学校で、それがとても心地良かったです。



私は幼少の頃から絵を描くことが大好きで、友禅の絵付けをしていた祖母の影響もあり、将来は何かしら絵に関わる仕事をしようと考えていました。透明水彩絵具とは、大学受験の2次対策で出会ったのですが、その美しい色合いにすぐ魅了され、以来ずっと水彩画を描き続けています。

お若くして亡くなられた数学の南田先生には、高校時代大変お世話になりました。いつもひょうひょうとしていて面白く、私たちのことを気にかけてくださるやさしい先生でした。入学して間もない頃、南田先生の授業前に、いたずらで黒板のど真ん中に先生の似顔絵を描いてお待ちしたことがあります。教室に入ってこられた先生は、その絵に気付くなり、「ほーーっ、これは似ていますね！すばらしい！すばらしい！」と褒めてください、そのまま黒板に絵を残したまま数学の授業を進めてくださいました。そのことは、私の嬉しく忘れられない思い出の一つとなっています。

高校三年、卓球部引退と同時にずっと描いてみたかった漫画を描いてみました。某誌の漫画スクールに応募したところ、そ

れがまさかのトップ賞＆プロデビュー。そんなわけで、これから受験勉強に取り組まねばならないという夏休みに、私はせっせと二作目の漫画を描いていました。あんな状況で、よく大学に入れたものです。でも、ある意味、勉強勉強と急き立てることなく放っておいてくれる泉陽高校だったからこそ、焦らずマイペースに頑張れたのかもしれません。

今でも、日々守っているのは、無理せず怠けずという姿勢です。とにかく、絵を描くことも教えることも、マイペースにコツコツ続けています。絵を描いていると、自然にものをよく見るようにますが、おかげで小さく些細な発見でも楽しむことができるようになりました。そんな幸せな時間を少しでも多くの方に体験していただきたいと、ここ数年は、誰でも気軽に絵を楽しめる『時短スケッチ』という描き方を、皆さんにお伝えしています。



『時短スケッチ』では、形が少々いびつでも、それらを味として捉えます。目の前にある対象物の描きたいところを描き、塗りたい色から塗ります。もちろん、ただ漠然と早く描けばよいというわけではなく、短時間でも上手くかっこよく見せるコツのようなものがたくさんあって、簡単なモチーフから少しずつ難易度を上げ、いつの間にか描くことを楽しめるようになるスケッチです。集中する時間は、暮らしをとても豊かにします。これから何か描いてみたい方に、『時短スケッチ』を知っていただけたら幸いです。



これからも、水彩イラストレーターあべまりえとして、たくさんの作品を描き、同時にその技法をお伝えしていけたらと思っています。透明水彩の美しい色合いが、より多くの方に心地よく映ることを願っています。

—新聞記事より【旭堂南陵さん】(20期生)—

堺市出身の小説家、由起しげ子の直筆原稿や初版本を私立中央図書館へ寄贈(読売新聞 2018.02.25 / 産経新聞 2018.02.20)――

府立堺高等女学校(現泉陽高校)出身で、戦後初の芥川賞を受賞した小説家 由起しげ子の原稿や著書66点を、旭堂南陵さんが堺市に寄贈されました。南陵さんは、約20年前の同窓会で由起しげ子が同校出身ということをしり、著書の収集を始めたとのこと。受賞作は「芥川賞全集」で入手できたものの、古本市や古書店のカタログにも掲載されておらず、収集にはかなり苦労されたそうです。

寄贈された作品は、今後整理した上で、中央図書館で所蔵されます。古く破損しやすい状態のため、貸し出しあれませんが、今年度中に図書館に特設コーナーなどを設け、展示される予定です。



【堺市からの感謝状】

竹山市長からは、「貴重な資料なので、図書館でしっかり管理して公開ていきたい」と述べ、南陵さんに感謝状を贈呈されました。

—新聞記事より【いたすけ古墳保存運動】— 宮川 徒さん(3期生)(読売新聞ほか)

2017年12月の公開講座をご担当いただいた宮川 徒さんの、「いたすけ古墳の保存運動が新聞、テレビにとりあげられました。



ユネスコの世界文化遺産登録の国内候補になった「百舌鳥・古市古墳群」の「いたすけ古墳(堺市・北区)」は、60年前宅地造成に伴い、取り壊しが検討されたことがあるそうですが、その際、宮川さんが中心となって考古学者らと「護る会」を結成、市議への面会、日本考古学協会での協力の呼びかけ、古墳買収のための募金などを進めたそうです。この運動がマスコミ報道され、全国的に注目を集めようになり、工事は中止となりました。「いたすけ古墳」は、その後百舌鳥古墳群では初の国史跡の指定を受けています。

2018年2月14日、NHK総合テレビにおいて、『市民が守った古墳 正解遺産への道(文化財保存全国協議委員会 宮川 徒)』の番組が放映されました。

卒業生は今—インドの花嫁(48期生 柳谷幸子さん)—

広報：今インドから一時帰国されておられるのですね？貴重なお時間を割いて頂き有難うございます。早速ですがインドの方とのご結婚に至られた経緯を聞かせて頂けませんか？

柳谷：はい、私は旅行が好きでよくいろいろなところに出かけていました。数年前インドのパンジャーブ州を旅行した時に知り合いました。パンジャーブ州はインドの地図で言いますと三角形の左上端に位置します。州内のアムリトサルというところにあるゴルデンテンプルを訪れ、そこで迷っていた時、彼と彼の友達が親切に寺院内を案内してくれたのが最初でした。その寺院はハリマンディル・サーヒブというシク教のグルドワーラーつまり総本山にあたる寺院です。その黄金寺院はシク教にとっては最も尊い巡礼地だといわれています。彼の家はその寺院の正面で民宿のようなホテルを経営しています。

帰国後メールでの遠距離恋愛がしばらく続き、昨年冬休みの休暇を利用して再び訪れるようになりました。彼の家は代々民宿を経営しており、父親が他界して母親・兄・弟と彼もその仕事を継いでいます。日本で考える民宿の忙しさはなく巡礼者の皆さんに宿を提供するだけなので、のんびりと仕事されています。再会した時に彼の家族全員からとても暖かく迎えて頂き、のんびり楽しい日々を過ごしました。日本で忙しくしていた私にはインドでのその民宿での暮らしは新鮮そのものでした。彼の優しさに後押しされ結婚を決意しました。

広報：そうですか。ご両親はすぐに認めてくださいましたか？

柳谷：認めるも何もしばらくは言い出せなく



て、とても困りました。昨年9月に結婚式が決まり、8月初めに向こうへ行く予定で、その準備をしていましたら両親にも私がインドで結婚するということが分かり、とても心配したことだと思います。でも私の決意の固いことを知り、許してくれました。

広報：ドラマチックですね。渡航される前に不安とかなかったですか？

柳谷：はい、不安はなかったです。彼の家族は大人数で暮らしていて、いつも一緒に食事をしています。皆とても仲良く暮らしていることや彼の優しさが全ての不安を消してくれました。特に兄嫁とは英語でメールができ、何でも質問することができたので、助かりました。不安といえばやはり言葉のことが一番でした。ヒンディー語は行く前にしばらく習ったのですが本当に難しく、今でもあまり話せません。英語で何とか暮らしています。

広報：結婚式にご両親に来て頂けましたか？

柳谷：いいえ、両親とも腰が痛く長時間のフライトには耐えられないということで、来もらませんでした。でもおばさんと妹や友達ご夫妻が遠いインドまで来てくれました。とても心強く有難かったです。

広報：結婚式で驚いたことがありますか？

柳谷：そうですね、いろいろあります。何でも時間が長いのです。例えば花嫁さんの支度も三日前から身体にボディペインティングのような飾りを描いてもらうのですが、本当に大変でした。インド式の花嫁衣裳を着ました。

広報：久々の日本ですが、ずっとインドの衣装ですか？腕の飾りは綺麗ですね？

柳谷：はい、この腕に付いている飾りは新婚さんの印で、左右の腕にそれぞれ30個ブレスレットのような飾りをつけています。夜寝る時もお風呂に入るときも外しません。5ヶ月たったら外してもいいようですが、特に決まりはありません。この衣装もとても気に入っています。

広報：まだまだ訊きたいことが沢山ありますが、紙面の関係上最後の質問です。日本に帰って来られ、どのようなこと感じられましたか？

柳谷：とても慌ただしく出発しましたので、自分の部屋の片付けもできませんでした。母にできるだけ荷物は処分して部屋も使ってくださいと言って行きましたが、母はきれいに片づけ、そのままにしておいてくれました。親の気持ちがとても有難いです。自分の部屋で休むと本当にホッとした。両親や家族に改めて感謝の気持ちが強くなりました。

広報：本日は貴重なお話を有難うございました。

インタビュー第5弾 「恩師は今…」

今回は2000年～2007年まで英語科教諭として2011年～2012年まで非常勤講師としてお勤めになられた、永井津記夫先生にご登場いただきました。

広報：先生本日はわざわざお越し頂きありがとうございます。

早速ですが、先生はいつごろ泉陽にて教鞭をとられておられましたでしょうか？

永井先生：2000年4月～2007年3月まで教諭として勤務しておりました。また非常勤講師として2011年4月から2012年3月まで勤めました。

広報：先生が今一番熱中しておられるることは何でしょうか？

永井先生：歴史の研究です。特に、日本古代史と日中韓近現代史です。日本古代史に関してはそのうちまとめて出版したいと考えています。

広報：そうですか。先生は英語を教えておられましたので、てっきり英語関係かと思いました。先生は泉陽にいらっしゃる頃から世界に向けて、ご自分のご意見を発信されておられましたが、まだ続けておられるのでしょうか？

永井先生：はい、続けています。英語も多少勉強しています。世界に向けて自分の意見を発表するには英語の力、特に、英語を書く力が必要です。世界の人々にぜひ読んでもらいたい場合は英語で、そうでない場合は日本語で書いています。

誤りのない内容を書こうとする場合、歴史を正しく知ることは不可欠だと思います。それで歴史の勉強をしています。今はキリ

スト教(一神教)世界である欧米が文化的、政治的に行き詰まり、崩壊しかけているように感じています。こんな中で日中韓関係に日本がどう対応していくのか真剣に考えいかなければならない時がきていると思っています。

広報：先生の発信力はこれから社会を担っていく卒業生たちにお手本になるものと思います。最後に卒業生に向けて、どのような社会人になってもらいたいですか？

永井先生：私は団塊の世代で、日本の近現代史、中国、韓国の近現代史をまったく学校教育の中で学びませんでした。私の習った中高大学の先生方は私の父親と同じ世代で、男の教員の多くは太平洋戦争に参加した人たちでしたが戦争の経験を語った人はまぎいませんでした。語りたくなかったし、語れなかったのだと思います。私が皆さんにやってほしいことは、正しい、嘘のない歴史、とくに、日本の近現代史を勉強してほしいと思います。そして、何が正しいのかを見抜く目を持ってほしいと思います。人も國も自分の都合のいいように、自分が正しく、相手が悪いように言いかちなので、眞実を見抜く目を養うことが大切だと考えています。

広報：本当にその通りだと思います。本日は貴重なお話をありがとうございました。

伝言板

— 各期の同窓会開催や部OB・OG会などのご案内 —

コールいづみから メンバー募集のご案内

わたしたちは、堺、泉陽が生んだ新進気鋭の作曲家、52期の石若雅弥先生の指導で、コーラスを楽しんでいます。いま、練習中の曲は、与謝野晶子作詞『君死にたもうことなれ』、金子みすゞ作詞『わたしと小鳥とすずと』、共に石若雅弥作曲です。

ていねいな発生練習と作曲者じきじきの指導でみると、うまくなっているだろうと思いたい私たちですが、ただいま、のどちら手ができるくらい、いっしょに歌ってくださる方をさがしております。練習は月2回の月曜日の昼下がり。泉陽会館でしています。

歌が好きな私たちですが、高校時代は、バレー部、軟式テニス部、音楽部、演劇部、ダンス部、軽音楽部、帰宅部と様々で、6期生～34期生が歌っています。

いまは、OG合唱団ですが、ゆくゆくは混声にならいいなども思っております。

月2回、泉陽に通い、学校のチャイムをききながら練習すると、タイムスリップをしたようですよ。興味のある方は、ぜひぜひ、私たちの練習をのぞきにきてください。

初心者大歓迎！私たちと石若先生がお越しをお待ちしております。

【連絡先】

9期生 あぼ (090-8145-6721)

13期生 すがた (090-3829-5404)

3期生(昭和26年卒) 第22回 同窓会のご案内

日時：平成30年10月28日(日)

受付開始 午前11時より

開宴開始 正午12時より

会場：「スイスホテル南海大阪」

幹事：栗井ルーム一同

12期生(昭和35年卒) 同窓会のお知らせ

2年に1度の同窓会、今回は1組が担当します。いまからご予定の上、多数の参加をお願いします。

日時：2018年10月28日(日) 12:00～

場所：南海グリル

詳細は後日にお送りするご案内状をご覧ください。

27期生(昭和50年卒) 第1回ゴルフコンペのご案内

お元気ですか～

下記の通り第1回ゴルフコンペを開催いたします。

ご夫婦、親子でのご参加も大歓迎です^_^

日時：平成30年9月23日(日・祝)

場所：聖丘カントリークラブ(富田林市)

第1組スタート 9:31

費用：プレイヤー 18,950円(税込)

キャディさん付き、昼食代含まず。

参加費(賞品代、表彰式での軽食代) 3,000円(予定)

以下の方は6月20日までに八十宛メールください。

- ① 参加希望。 ② 都合がつけば参加したい。
- ③ 今回は不参加だが、案内は次回からも欲しい。

* ①、②の方は8月20日頃に、最終確認のメールを八十から致します→速やかに回答ください。

世話役 川崎 年彦

問合せ 八十 亨

E-mail : asama3980@docomo.ne.jp

携帯 : 090(3352)7007

第17回 泉睦会開催のお知らせ

日時：2018年7月14日(土)

受付：16:30～ 開演：17:00～

場所：南海グリル天兆閣(4階)

会費：5,000円+年会費 2,000円

【詳細の連絡先】

14期生 渋田(090-1486-3901)

バスケットボール部OB会 2018年総会

日時：2018年11月3日(土) 9:00～

場所：泉陽高校体育館にて交流試合

同窓会館にて懇親会(13:00)

会費：500円(現役への協力金を含む)

懇親会：学生 0円/社会人1,000円

内容：交流試合、現役高校生とのゲーム、フリースロー大会

活動報告、ビンゴゲーム他

【連絡先】

http://www.geocities.jp/senyo_buddys/

中野陽子さん(25期生)からの書籍出版のご紹介

中野陽子さん(25期生)から、シンプル声楽法の書籍出版のご紹介をいただきました。

ソプラノ歌手、「声楽の健康科学」研究者。山田耕筰の愛弟子 嘉納愛子氏に師事。直系の孫弟子となる。相愛大学音楽学部声楽科卒(芸術学士)。サンフランシスコ・コンサーバトリー音楽大学にて研鑽を積む。大阪教育大学大学院教育学研究科 健康科学専攻修了修士(学術)。現在、ハルカスにて近鉄文化サロンや大阪健康福祉短期大学「ハルカス大学講座」など講師として活動。泉陽OB・混声合唱団「陽」ボイストレーナー。ブログ虹の木もれ陽 <http://operaria1.blog.fc2.com/>



「シンプル声楽法」という歌が上手くなりたい願いを叶える本を出版いたしました。本書は、誰もが歌える童謡『赤んぼ』をテーマに、声楽の基礎を、やさしい5つのレッスンに凝縮して紹介しています。

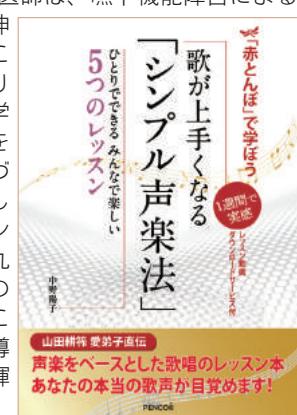
私(25期生)は、泉陽を巣立って音楽大学へ進み、山田耕筰直系弟子の故・嘉納愛子先生に師事した声楽家です。そのため耕筰の孫弟子にあたります。嘉納先生は、100歳を過ぎて活躍する現役の声楽指導者としてマスクミで話題となったので、ご存知の方も多いことでしょう。また、同門下の叔母は、泉陽出身の「なでしこコーラス」の初代ピアニストであり、耕筰の音楽性や泉陽スピリットはこの叔母が手ほどぎしてくれました。

社会人になってからは、演奏活動のかたわら、アーティストや一般の方々への声楽レッスンやボイストレーニング指導を続

けてきました。そして、還暦を目前に、大阪教育大学健康科学専攻の大学院生になって再びキャンパスに戻り、声楽と科学を融合させた研究をすすめて「声楽の健康効果」で修士(学術)の学位を得ました。

これらの経緯をもとに、とかく敷居が高いと思われがちな「声楽」から、「息の仕方・声の出し方・言葉の発し方・正しい姿勢・表現や芸術性」の数項目を抽出して、歌が上手くなる方法としてのメソッド(Method)にまとめたものが、今回、紹介する本です。山田耕筰の直系弟子であることから、耕筰歌曲の歌い方もお伝えしています。さらにオペラやクラシックといった歴史入門も、読み物として楽しめるように、エッセイ風に書きました。

日本は長寿大国となりました。医師は、嚙下機能障害による肺炎予防のために、健康寿命を伸ばそうとするシニアたちへ歌うことを薦めます。本書が健康づくりのお手伝いとなれば幸いです。学生さんや就職活動中の若者、歌を教える学校の先生などにも、声づくりのハンドブックとして活用して頂ければと思います。アマゾンや、大阪のジュンク堂・京都の丸善・東京の三省堂本店など全国の各書店で取扱中。本書を楽しむことで、多くの方が歌ウマへと導かれ、人生そのものが健やかな輝きを増しますように！



晶子研究会より

2017年度は平成29年5月に、「晶子フォーラム」が利晶の杜で開催されました。ご紹介記事を与謝野晶子倶楽部組織委員の和田武子様(3期生)にお寄せいただきました。

さかい利晶の杜へご多忙のところお越しくださり、ありがとうございます。

時代も変わり、晶子の姿もマンガの時代になってまいりました。私たちは昭和の時代を生きてきて、一考するところがあります。また、せっかくお越しくださったのに、用意したサイン帳や筆等、セキュリティの都合上、一日目だけで撤去されてしましました。この紙面をもちまして、感謝とおわびを申し上げます。

晶子フォーラム2017出展

書道(泰山書道院／石崎信子)
華道(堺市いけばな協会部長会／白本 宋白／三部知甫)
絵画(ペギンクラブ／石崎洋興／坂 本福治／和田武子／森川巳津子)
文芸(泉陽高校同窓会晶子研究会／
協力：泉陽高校文芸部)



むすびの会より

昨年度まで126組の成立があったむすびの会ですが、残念ながら、2017年度は成立がありませんでした。150組をめざして、一層の努力をして参ります。

泉州会 会員の皆様へ
泉州むすびの会
泉州むすびの会 会員・委員募集のお願い
泉州会 会員様
泉州会 会員のお子様、お孫様
泉州会 会員のお知り合いの方
是非「泉州むすびの会」へご入会くださいまして
さらに新しいチャンスに恵まれますよう お口添え
後押し、応援をよろしくお願い申し上げます。
※ 泉州会ホームページからもお申し込みいただけます。
連絡先 中川 明子
TEL・FAX 0725-56-3657

平成30年卒 70期代議員クラス幹事のご紹介

今年も泉州会にフレッシュな仲間が増えました。若い力で、ますます泉州会の発展にご協力をお願いします。

1組	辻 将吉	上野 奈保
2組	河井 優聖	廣瀬 愛華
3組	江下 海恩	竹中 美咲
4組	宇治 鞠希	関田 優月
5組	明賀 諒	古川千菜美
6組	加野 誠也	小西 史織
7組	紺田 涼菜	山内 美羽
8組	木村 佳起	井田 則可
9組	永野元渕生	井上 愛美
10組	田阪 熙樹	杉谷茉莉絵

* 太字 4名は70期代議員です。



編集後記

広報委員長として、2回目のいづみ作成でした。ラフスケッチを作り終えた直後、愛犬が亡くなりました。いろいろな意味で記憶に残る原稿作成となりました。

今年は母校の記事を増やそうとしていますが、まだまだの感があります。新たな取り組みとして、『読後アンケート』を始めます。お手数ですが、忌憚のないご意見、ご要望をお寄せいただければ幸いです。

(昭和60年卒・37期 吉山 論)

いづみ掲載記事の募集について

いつもたくさんの原稿や写真を提供いただき、ありがとうございます。広報委員会も新たな体制となり、ますます充実した書面にしていく所存ですので、引き続きたくさんのご支援、ご協力をお願い申し上げます。また、掲載内容のご要望などもありましたら、ご遠慮なくお申し付けくださいませ。

募集記事 OB、OGのご活躍の情報、同窓会報告、同窓会開催案内など

※紙面の都合により、掲載されない場合があります。あしからずご了承くださいませ。
記事の文字数など

おおむね原稿用紙1枚(400字程度)、それよりも多くてもかまいませんが、紙面の都合上、文脈を変えず編集することができます。

写真については2枚~3枚までにしていただくと助かります。

記事の送付方法

電子媒体での入稿がありますが、紙媒体でも問題ありません。

- ・郵送：泉陽会館に広報委員会宛てご送付ください。
- ・メール：koho@senyokai.jp